

国語科学習指導案

授業者 ○○ ○○

- 1 日 時 令和3年2月10日(水)
- 2 学年・学級 第1学年1組 35名(男子20名 女子15名)
- 3 単 元 名 印象深く思いを伝えよう～新入生へメッセージを書く～
- 4 単元について

(1) 単元観

本単元は、中学校学習指導要領国語科第1学年の指導内容の「B書くこと」の指導事項「ウ 根拠を明確にしながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫すること。」及び「オ 根拠の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすこと。」をねらいとしている。

書くことは自己表現の機会である。本単元では校区内の小学生へ中学校の魅力を伝えるメッセージを書く学習を設定する。手紙文の展開の仕方や相手を意識した表現、相手を引き付けるような表現の工夫を学習するとともに、この一年間の学校生活の中で得たことを基に伝えたい内容を考えることを通して、次年度への展望をもつ機会になると考える。

(2) 生徒観 ※省略

(3) 指導観

指導にあたっては、どのような内容を書くか、どのような思いを伝えたいかを明らかにさせること、アドバイスをどのように推敲にいかすかを考えさせることなど、さまざまな場面で自己決定をさせ、自分の考えが自分の言葉で、より実感をもって伝わるような文章を書かせたい。文章を書く準備として、内容や構成に関する構想をワークシートに書き出させ、自分の考えや文章の展開について可視化し、整理させる。今回手紙文を書くにあたって、以前学習した行事の案内文の展開の仕方を想起させ、つなげたい。書いた文章は交流させ、よい点や改善点を発見させることで他者を知り、認め合う機会としたい。

また、あと二か月ほどで自分は二年生となり、後輩が入学してくることを意識させ、自分が約一年前どんな気持ちで中学校に入学し、この一年間でどう頑張ってきたかということを感じさせ、これから入学してくる後輩たちへの思いやりが伝わるよう指導したい。今回書くメッセージは実際に校区内の小学校6年生へ送ることも伝え、より相手意識、目的意識をもたせ、意欲につなげたい。

5 単元の目標

- (1) 事象や行為、心情を表す語句の量を増やすとともに、それらを文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 [知識及び技能] (1)ウ
- (2) ①自己の体験を根拠としながら、自分の考えが伝わる文章になるように工夫することができる。 [思考力、判断力、表現力等] B(1)ウ
- ②伝えたいことの基となる自己の体験の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだすことができる。 [思考力、判断力、表現力等] B(1)オ
- (3) 自己の体験を根拠としながら、自分の考えが新入生へ伝わるように積極的に自分の考えを文章に表そうとしている。 「学びに向かう力、人間性等」

6 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>事象や行為、心情を表す語句の量を増やすとともに、それらを文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。</p> <p>(1)ウ</p>	<p>①「書くこと」において、自己の体験を根拠とした考えが伝わる文章になるように工夫している。</p> <p>(B(1)ウ)</p> <p>②「書くこと」において、伝えたいことの基となる自己の体験の明確さなどについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。</p> <p>(B(1)オ)</p>	<p>目的や相手に応じて、自己の体験を根拠としながら、自分の考えが伝わる文章になるよう粘り強く工夫し、中学校の魅力を伝える新入生へのメッセージを書こうとしている。</p>

7 指導と評価の計画（全5時間）

次	主たる学習活動（時数）	評価する内容	評価方法
1	<p>○今回の学習の目的を把握する。</p> <p>○相手意識、目的意識を明確にもち、自分の体験などからメッセージの題材を選ぶ。(1)</p>	「主体的に学習に取り組む態度」	ワークシート
	<p>○メッセージに書く具体的な内容を書き出し、構成を考える。</p> <p>○自分の考えや思いを表現する工夫を考える。(1)</p>	「主体的に学習に取り組む態度」	ワークシート
2	<p>○構成や表現を工夫して、相手に届くようなメッセージの下書きをする。(1)</p> <p>【本時3/5】</p>	<p>[思考・判断・表現] ①</p> <p>「主体的に学習に取り組む態度」</p>	<p>下書き原稿</p> <p>振り返りシート</p>
	<p>○注意点や条件に従って推敲する。</p> <p>○推敲で改めた点を直して、清書する。(1)</p>	<p>[思考・判断・表現] ②</p>	下書き原稿
3	<p>○お互いのメッセージを読み合い、感想を伝え合う。</p> <p>○振り返りをする。(1)</p>	「主体的に学習に取り組む態度」	振り返りシート

7 本時の展開

(1) 本時の目標

- ・ 表現や構成の工夫をしながらメッセージの下書きをしよう。

(2) 観点別評価規準

- ・ 「書くこと」において、自己の体験を根拠とした考えが伝わる文章になるように工夫している。
[思考・判断・表現] B(1)ウ
- ・ 目的や相手に応じて、自己の体験を根拠としながら、自分の考えが伝わる文章になるよう粘り強く工夫し、中学校の魅力を伝える新入生へのメッセージを書こうとしている。
「主体的に学習に取り組む態度」

(3) 準備物

教科書・ワークシート・国語辞典

(4) 身に付けさせたい資質・能力を育成するための授業づくり

- ・ メッセージの題材や構成などについて、自分の体験やこれまで学んだことを基に自分で決めることで主体性を育成する。
- ・ 表現の工夫などについて他者と交流しながらよりよいメッセージにしていくことで、協働性を育成する。

(5) 学習の展開

過程	学習活動	指導上の留意事項 (○) 「努力を要する」状況と判断した生徒への指導の手立て (●)	評価規準 (評価方法)
導入	1 前時を想起する。	○メッセージの内容や構成について準備したことを思い出させ、本時とのつながりを確認する。 ○本時のめあてを記入させる。	
	2 本時のめあてを確認する。		
展開	3 手紙文の展開を踏まえて、季節の挨拶を書く。	○案内文を書いたときにどのような構成で書いたかを思い出させる。 ●今の時期にふさわしい挨拶を自分で考えるか、ヒントをもらうか選ばせる。	【主体性の育成】
	<季節の挨拶の例> <ul style="list-style-type: none"> ・ 厳しい寒さがまだ続きますが ・ 寒さの中にも少しずつ春の訪れを感じるころとなりました。 ・ だんだんと春が近づく季節となりました。 		

<p>4 メッセージの中心となる内容を書く。</p> <p>【主体性の育成】</p>	<p>○前時までに準備した内容や構成についてのメモを基に、中心となる内容を書く。</p> <p>●自分で書くか、友達と相談しながら書くか決めさせる。</p>	<p>○「書くこと」において、自己の体験を根拠とした考えが伝わる文章になるように工夫している。(下書き原稿)</p>
<p>5 「楽しい」「大変」「大切」という言葉を使わないという条件を聞き、表現を工夫する。</p>	<p>○より豊かな表現となるよう、条件を設ける。</p> <p>●引き続き、友達と相談してもよいこととする。</p>	<p>【協働性の育成】</p>
<p><予想される生徒の文章></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校では部活動があり、先輩や友達と一緒に活動するのが楽しいです。 ・授業は 50 分間になります。集中することが大切です。 ・中学校生活に慣れるまでは大変ですが、～ <p><予想される生徒の文章></p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校では部活動があり、先輩や友達と一緒に同じ目的をもって活動する時間はとても充実しています。 ・授業は 50 分間になります。先生の話聞き逃さないようにすることが大切です。 ・中学校生活になれるまでは目の回るような毎日ですが、～ 		
<p>6 学習の振り返りをする。</p> <p>【視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「楽しい」「大変」「大切」という言葉を使わないことで、自分の表現がどう変わったか。 ・他の人と交流することでどのような効果があったか。 	<p>○視点を設定し、自分の学習を振り返らせる。</p>	<p>○目的や相手に応じて、自己の体験を根拠としながら、自分の考えが伝わる文章になるよう粘り強く工夫し、中学校の魅力伝える新入生へのメッセージを書こうとしている。(振り返りシート)</p>
<p>まとめ</p>	<p>※生徒の振り返りの例</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「楽しい」という言葉を使わずに表現するのは難しかったけれど、言いたいことが詳しく伝わる文章になったと思います。 ・「大変」という言葉を使わないことで、言葉に対する自分の意識が高まったと思います。 ・「大切」という言葉を使わないことで、他にどのように表現すればよいかを考えることができました。これから文章を書くときに、より具体的に表現してみたいです。 ・一人ではなかなか進まなかったけれど他の人にアイデアをもらって、どのように書けばよいか分かってきました。 	
	<p>○次時では下書きした文章の推敲をすることを伝える。</p>	